

統合システム運用管理

オートメーション

ジョブ分析 JP1 Cloud Service/Job Analysis のご紹介

～ジョブ運用状況の可視化と問題点の特定により安定したジョブ運用を実現～

株式会社 日立製作所

Contents

- ジョブ分析 JP1 Cloud Service/Job Analysis の概要
- できること
- システム構成例とサービスメニュー
- システム運用を最適化するSaaS型サービス

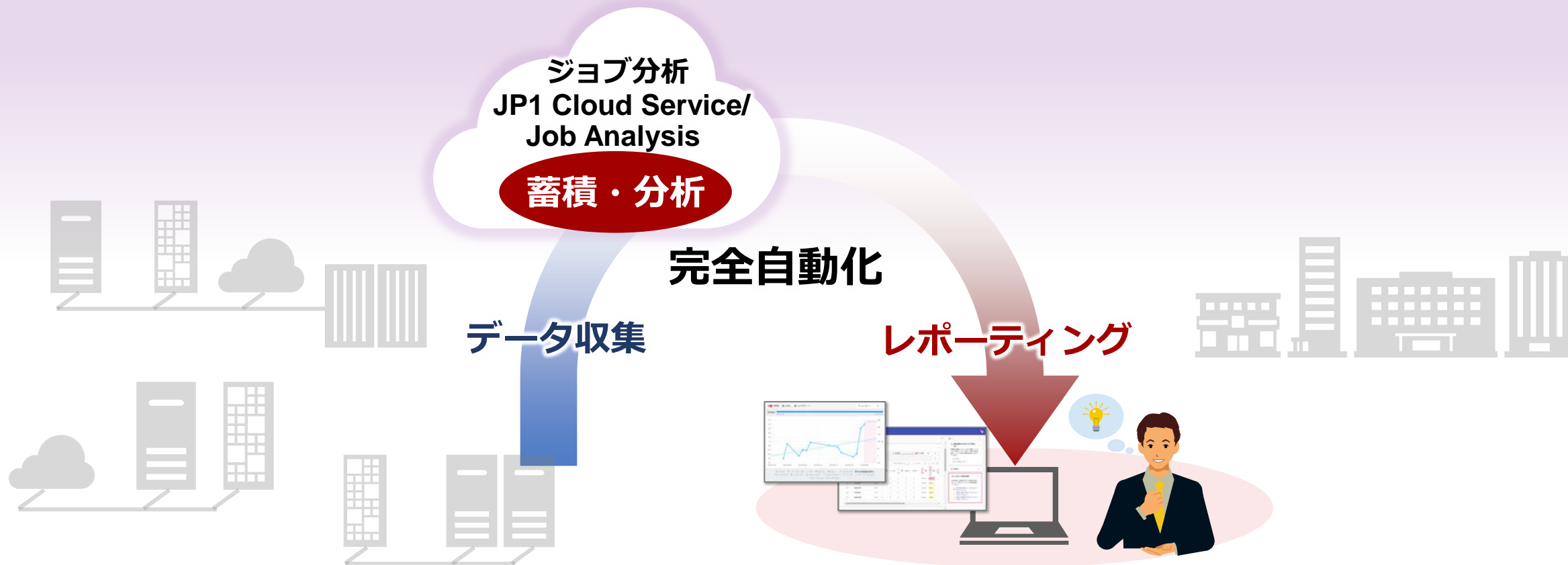
ジョブ運用状況の可視化と 問題点の特定により 安定したジョブ運用を実現

- 日立の運用経験とノウハウを活用し、ジョブ運用の実績データを効率よく分析します。
- ビジュアルな分析レポートで、ジョブ運用の問題点と改善策を提案します。



できること

- ジョブ分析 JP1 Cloud Service/Job Analysis でできること
- ①問題の事前把握と対処
- ②集中時間・空き時間の把握
- ③ジョブ運用の健全性や保守性を簡単に分析・評価
- レポートの種類
- 【ユースケース】 ジョブ分析レポート作成に活用してコスト削減と属人化の排除を実現！
- 【ユースケース】 ジョブ障害調査に活用して対応を迅速化・ビジネスへの影響を軽減！



1

問題の事前把握
と対処

2

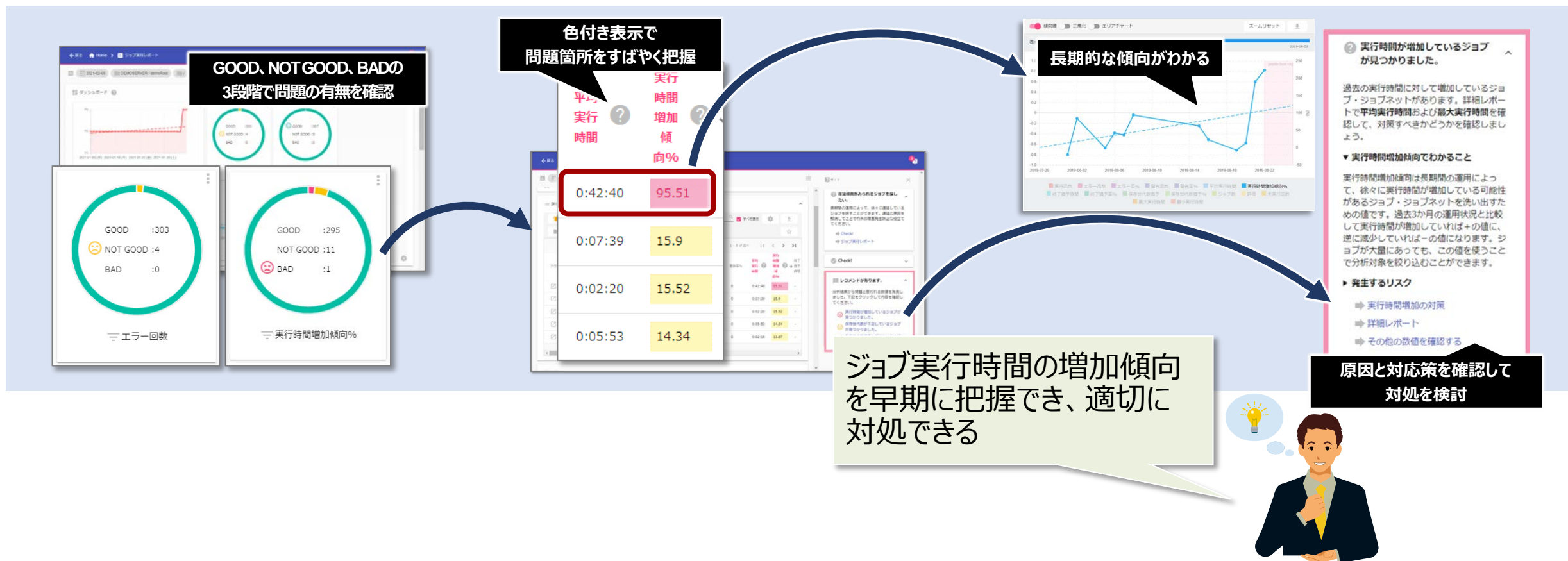
集中時間・
空き時間の把握

3

ジョブ運用の健全性
や保守性を簡単に
分析・評価

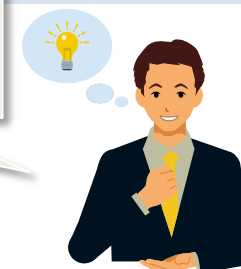
業務遅延のおそれを事前に把握できます。

日々のジョブ運用の実績データをもとに、業務遅延の要因になるジョブ実行時間の増加傾向の問題をひと目で確認できます。問題がある場合は、システムに与えるリスク、推定される原因と対応策が提示されるので適切に対処できます。







ジョブの集中時間・空き時間をひと目で把握できます。

ジョブ実行の集中時間帯を確認して、一部のジョブの開始時間を空いている時間帯に変更するなどの対策を検討できます。また、臨時のジョブ実行など、計画外のジョブ実行が必要になった場合でも、混みあう時間帯を避けるなどのスケジュール調整に活用できます。

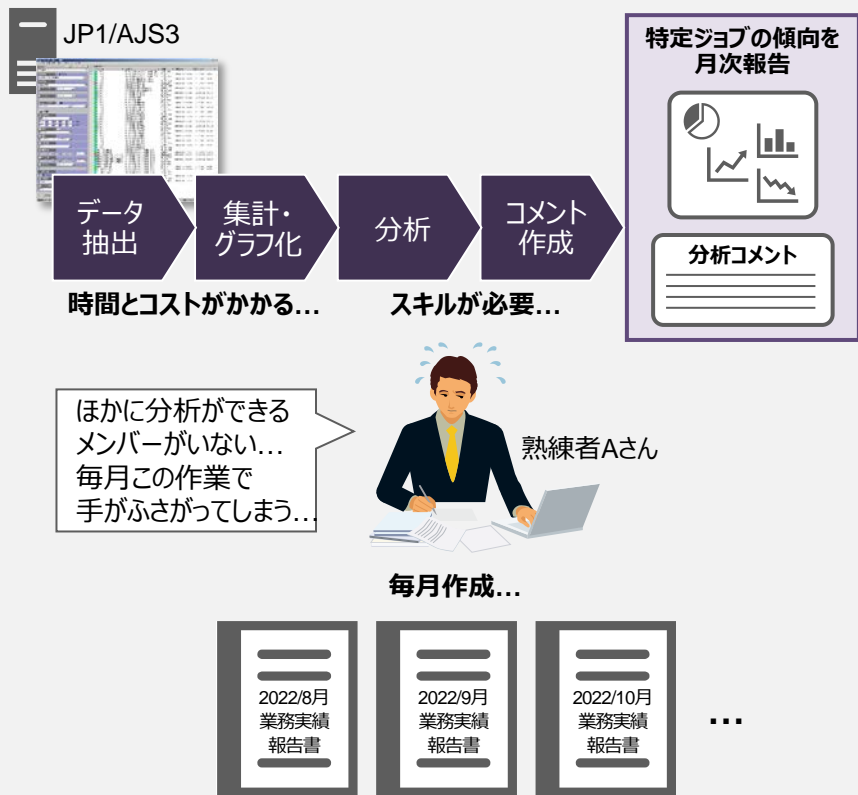


ジョブ運用の分析結果を可視化し、業務運用の改善に役立つレポートを提供します。

レポート種別	活用用途	レポート内容
ジョブ実行レポート	障害の原因究明や 障害予兆分析に 	ジョブごとの実行結果や実行時間を、過去からのデータに基づいて分析・評価し、状況を可視化します。 障害の原因究明や障害予兆分析に活用することで、最適なジョブの実行・運用を実現します。
ジョブスケジュールモニタリングレポート	スケジュール 最適化に 	ジョブの実行回数、実行時間や、実行時の性能情報をもとに業務の過密状況を分析・評価し、安全なジョブスケジューリングを可能にします。
ジョブ定義診断レポート	ジョブ定義の 問題発見に 	ジョブネットの実行履歴や定義内容から、複雑性やメンテナンス性など、運用コストの増加を抑えるために必要な改善ポイントを評価します。
カスタムレポート	レポートの カスタマイズに 	レポート対象のジョブグループやジョブネットと、実行回数や平均実行時間などのメトリックを任意に指定して、1つのレポートとして表示できます。 担当システムごとや定期報告対象ごとなど、見たい単位でジョブの運用状況を確認できます。

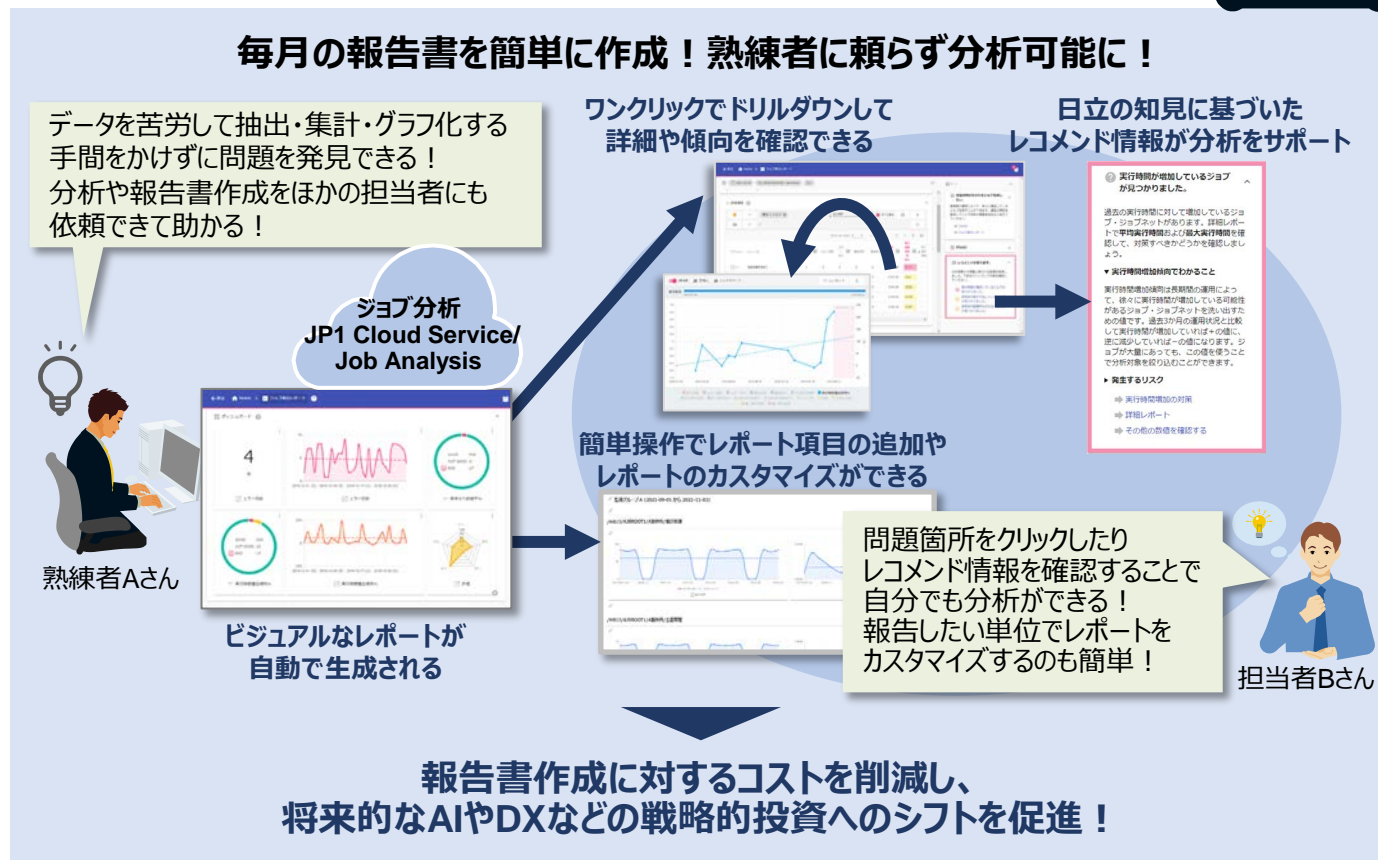
Before

- 毎月ジョブの傾向を報告書にまとめるために、必要なデータを抽出して、集計、グラフ化するのに時間とコストがかかっている。
- 集計結果を分析してコメントができるメンバーが固定化・属人化してしまっている。



After

- ジョブ運用に関するビジュアルなレポートが自動生成されるため、データ抽出、集計、グラフ化といった作業が不要になり、報告書作成業務の負荷が大幅に軽減！
- 問題の発見や原因・対策の確認が簡単な操作でできるため、熟練者に頼らず分析が可能に！



ジョブ障害調査に活用して対応を迅速化・ビジネスへの影響を軽減！

Before

業務システムのジョブに開始遅延、異常終了などの問題が発生したときに、開発担当者は本番環境を直接参照できず、運用管理者に問題状況を確認して調査を実施するため、対処に時間がかかり、ビジネスへの影響が大きくなってしまいます。



After

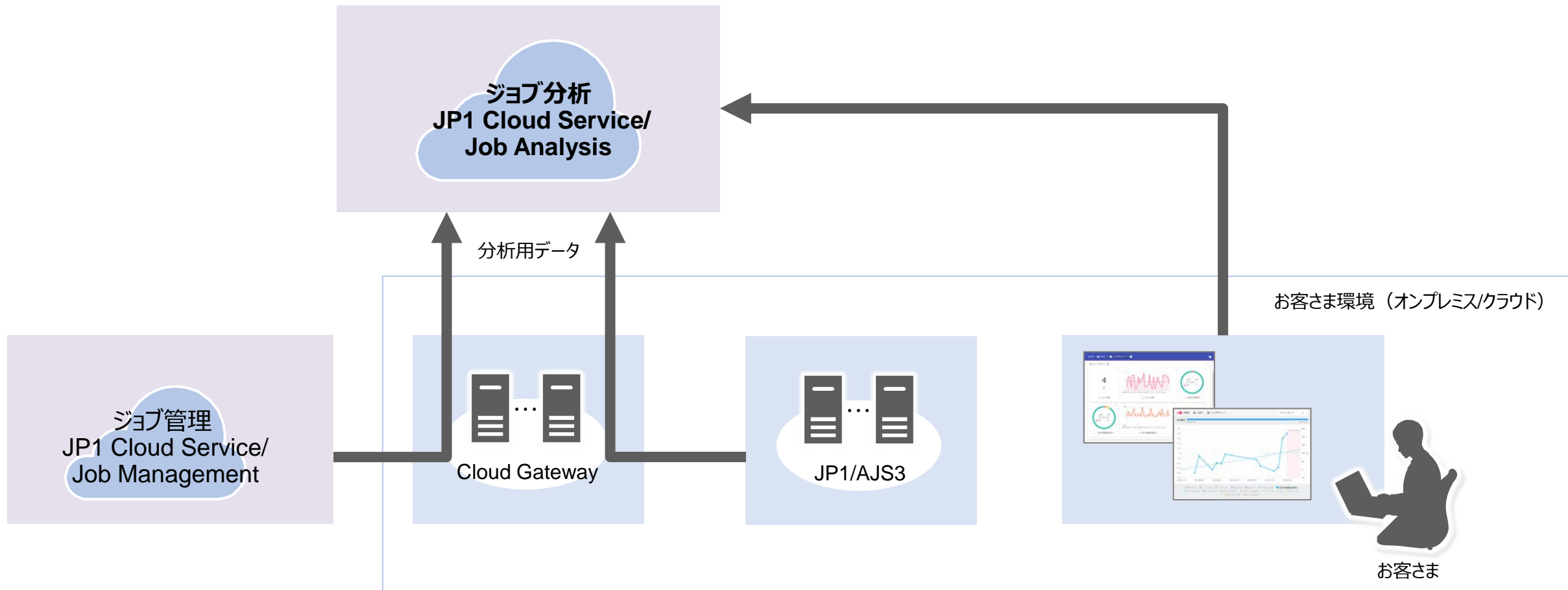
- 開発担当者は運用管理者への問い合わせを介さずにジョブ実行状況の把握や過去の実績との比較ができるため、問題発生箇所や原因の調査にかかる時間とコストを大幅に低減！
- ジョブスケジュールの見直しが簡単にできるようになり、問題への対処が迅速化！



システム構成例とサービスメニュー

- システム構成例
- サービスメニュー

ジョブ管理 JP1 Cloud Service/Job Management、またはJP1/AJS3のジョブ運用データを
分析・可視化する場合のシステム構成は、次のようになります。



※ 分析用データは、Cloud Gatewayを介してセキュアに収集します（お客様環境のサーバがインターネットに直接公開される心配はありません）。
JP1/AJS3: JP1/Automatic Job Management System 3

メニュー	説明
基本プラン* ¹	ジョブ運用データを利用した、分析・評価・改善のためのレポートを活用いただけます。
保存期間追加オプション* ²	データ保存期間を12か月分延長いただけます。
ユーザー追加オプション	利用ユーザー数を5ユーザー単位で追加いただけます。
ユニット数追加オプション* ³	ジョブ定義ユニット数を10,000ユニット単位で追加いただけます。

*1 データ保存期間：12か月 利用ユーザー数：10ユーザーまで ユニット数：10,000ユニットまで

*2 保存期間追加オプションは、基本プランおよびユニット数追加オプションごとに必要となります。追加できる保存期間の単位は12か月です。

*3 分析できるユニット数の上限は基本プランとあわせて50,000ユニットまでです。

価格については、当社担当営業にお問い合わせください。

システム運用を最適化するSaaS型サービス

- すぐに使える運用ナレッジ

日立のジョブ運用経験とノウハウを取り入れたSaaSで、ジョブの運用データを分析・可視化できます。

分析用のマシンやデータ蓄積用ストレージの増設、メンテナンスは一切不要
レポートはインターネット経由で、Webブラウザから参照できます

マシン、ストレージ
などの環境構築不要で
導入コストを抑制



- 分析用のマシンやデータ蓄積用ストレージの購入費用が不要、構築・保守の費用を低減
- 業務の拡張に合わせて12か月単位でデータ保存期間を延長可能

手軽な
SaaS型サービス



- 分析用のマシンの稼働管理、維持保守（OSのパッチ適用、セキュリティ点検、バックアップ・復旧計画など）は日立が実施するため作業不要
- レポートはインターネット経由で、Webブラウザから参照可能

ジョブの運用ナレッジを
活用した分析・評価



- 日立のジョブ運用経験とノウハウを活用できるため、独自で導入・運用するよりもスピーディーに運用状況の可視化と課題の抽出が可能

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

- 記載の仕様は、改良などのため予告なく変更することがあります。
- 掲載している画面イメージは、実際の画面の色調とは異なる場合があります。
- 輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- JP1 Webサイトで最新情報をご確認ください。

END

統合システム運用管理

オートメーション

ジョブ分析 JP1 Cloud Service/Job Analysis のご紹介

～ジョブ運用状況の可視化と問題点の特定により安定したジョブ運用を実現～

株式会社 日立製作所